

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 292 号	氏名	三島 壯太
学位審査委員	主査	下川 功	
	副査	永安 武	
	副査	中尾 一彦	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、胆道疾患に対する胆道再建術後、胆管癌のリスクが増加することについて、動物モデルを用いて一酸化窒素 (NO) の関与と iNOS 阻害剤による抑制効果を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ハムスターに胆道再建術を行い、発癌物質を投与し、短期間で胆道癌を誘発した。腺癌、腺腫の発生頻度と胆管炎の程度、胆道上皮の細胞回転、iNOS の発現等を指標とし、iNOS 阻害剤の影響を明らかにした研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、iNOS 阻害剤によって、胆道再建術後の胆道発癌を抑制しうることを明らかにし、今後の外科治療学、臨床応用への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は腫瘍外科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			